



SIOP と ICCCPO は、小児がん対策のさらなる向上を政府に要望します

<ジュネーブ発 2013年2月4日>——本日、世界がんの日にあたり、国際小児がん学会（SIOP）と国際小児がん親の会連盟（ICCCPO）は、世界各国の政府および保健省に対し、がんに関わった子どもたちをケアする仕組みを強化し、小児がんとの闘い努力の一層の推進を訴えます。SIOP と ICCCPO は、1500人以上の小児がん専門医と 158 の親の会および支援団体を代表しており、そしてその 2 団体は世界の人口のおよそ 85%をしめています。

途上国と先進国の間にある、小児がん生存率の格差を解消するための基本的アプローチのひとつは、早期発見です。小児がんは、発見された時は既に遅すぎることが多くあります。2013年の世界がんの日のテーマは、“がん—あなたは知っていましたか？”であり、これは過去数年間 SIOP と ICCCPO が取り組んできた戦略を的確にあらわしています。小児がんの早期発見キャンペーンは、SIOP と ICCCPO が 2012年に始めたもので、早期診断と適切な治療により、小児がんの過酷な治療による後遺症をある程度避けることも可能です。その国に治療の機会が存在するという前提ではありますが、国民意識の向上と啓発活動によって、貧困国あるいは途上国においても早期診断の割合を高めることが可能なのです。

SIOP と ICCCPO は、特に途上国の小児がんの子どもたちに対する適切な治療、ケアやサポートの提供について連携した行動を呼びかけています。各国政府および国家レベルの関連団体が、小児がんが早期かつ正確な診断が確実に実行されるような政策の確立に向けその力を結集することを強く要望します。不幸なことには、小児がん対策が保健医療分野の優先課題とみなされていない地域が多くあり、特にエイズやマラリア、またはポリオのようなその他の小児の病気に対応しなければならない途上国ではそれが著しくなっています。

小児がん対策においては、教育と研修が鍵であり、小児がんに関する知識と情報の交換が必要です。小児がん対策に関し、二国間連携（例えば関係が深い国同士の連携）プログラムの促進とその支援が期待されています。「すでにいくつかの国において行われているように、政府と ICCCPO がさらに連携し、一般市民のみならず、保健医療の専門家に対しても、小児がんとその初期症状についての啓発のキャンペーンを推進すべきである。」と ICCCPO 会長のケネス・ドールマン氏は述べています。また、先進国で一般的になっている治療手法や計画が、途上国においても採用され実施されることが必要であり、それによって、生存率が向上するという決定的な成果が既に出されているのです。SIOP の会長のガブリエレ・カラミナス氏が訴えているように、「実証されたものがすでにあるのです。なにか新しい発見が必要というわけではありません。今必要なのは行動です！」ということなのです。



多くの途上国の医療制度は、小児がん患者とその家族のニーズに呼応したものでなければなりません。新人の保健医療関係者の研修には、小児がんに関する教科が含まれるべきであり、さらにこのような専門職を確保する対策を講じることも重要です。そして、これらの国の政府や保健医療制度当局は、国民の健康を守る重要な役割を果たす保健医療関係者の流出という問題にも、十分な注意を払う必要があります。

本件に関する、更なる情報についての連絡先は以下の通り：

Marianne Naafs-Wilstra
ICCCPO c/o VOKK
Schouwstede 2B, 3431 JB Nieuwegen
NETHERLANDS
Tel: +31 30 242 2944
icccpo-secretariat@vokk.nl

Jose Julio Divino, MPH
Senior Adviser, Advocacy and Communications
SIOP Secretariat
1-3, rue de Chantepoulet
1211 Geneva, Switzerland
Tel: + 41 22 906 9123
advocacy@siop-online.org

国際小児がん学会（SIOP）について

がんの診断がついた小児及び若年成人に伴う諸問題を研究、解決しようと1969年設立された会員数1500名を超える世界的な学会である。“がんで死亡する子どもをなくす”ことを目標に、SIOPは以下を使命とする：1) がんの診断がついた小児や若年成人のすべてが最新の治療およびケアを受けることができるようにする。2) 小児がんに関連する世界中の人々が、会議やネットワークを通して最先端の医療を知ることができるようにし、医療従事者はさらなる発展を目指し努力し続けることを約束する。3) 最良の治療および緩和技術の提供による小児がんの子どもと若年成人への支援を行う。4) 治療終了後の小児や若年成人への適切な長期フォローアップの支援を行う。SIOPはDr. Gabrielle Calaminusを会長とした理事会で構成され、ジュネーブ（スイス）に本部を置く。ホームページ www.siop.nl

国際小児がん親の会連盟（ICCCPO）について

ICCCPOは小児がんの子どもを持つ親の会としては世界最大の団体である。医療者や家族が、そしてより広い地域社会も、小児がんの子どもとその家族が直面する短期的/長期的問題に関してよく理解し、診断時、そしてそれ以後、世界中のどこにいても可能な限り、最良の治療を受けることができることを願っている。そのためにICCCPOでは、情報や積み上げてきた経験をすべての家族と共有することを使命としている。ホームページ www.icccpo.org

（日本語訳協力：松本光代氏）